新世界事情

武励み　礼に始まり

道究め　礼に終わる

日本の武道は今や、世界中に普及しています。お家芸といわれる柔道も、北京五輪で見るように外国人選手の活躍が目立ちます。武道の精神は「礼に始まり、礼に終わる」。海外の愛好家はどんな気持ちで、けいこに励んでいるのでしょうか。

日本統治時代の建物「武徳殿」でけいこに励む台湾人剣士たち＝高雄市で

心鍛える 正拳突き

米国　空手

先生から真剣に空手の形を教わる子どもたち＝ニューヨーク市内で

「ピア・ウィ・ゴーイング・セイケン、ワン、ツー」。先生の掛け声に合わせて、子どもたちが正拳突きを繰り返す。額には汗がにじみ、どの目も真剣だ。

米ニューヨーク・マンハッタンのミッドタウンにある「国際大山空手道連盟・松本道場」。三歳から六十四歳まで、約百四十人の生徒が鍛錬に励む。子どもは米国人と在米邦人が半々、大人は七割が米国人だ。生徒にはウォール街の金融マンや弁護士、医者などもいる。

道場を取り仕切る松本大輔先生（三五）による目を輝かせる。緑帯のジュアン・サカワキ君（七）は「学校でいじめられて、強くなりたかった」。道場では先輩と、三年前の開場以来、生徒は年々増えている。「映画や総合格闘技などの影響もあるが、自分を変えたい、きちんと空手道を究めたいと真剣に入ってくる人もたくさんいます」

後ろ回しげりに果敢に取り組んでいたジャック・エンゲルブレヒト君（一〇）の夢は、「ニンジャになること」。

「一生懸命練習すれば絶対になれる」と青い目を輝かせる。（ニューヨーク・加藤美喜、写真も）

清く正しく「メーン」

台湾　剣道

「メーン」「ドウ」「コテ！」。土曜の夜七時、台湾南部高雄市の道場「武徳殿」に集まった約五十人が日本同様の作法、段取りでけいこを進めていく。

「彼はギリシャ人。日本人の子どももいますよ」と、道場を運営する高雄市剣道文化促進会理事長の陳

サンポも一モ

ロシア

ロシアで「柔道」は柔道家を自任する人の影響もあり、メジャツのひとつ。

ロシア柔道連盟によると、正確な統計現在、モスクワだけの道場や学校がありがけいこに励んでいただ、格闘技の道かといえばそうい。ロシアには自国柔道とルールが似ているがあるからだ。柔道技を重視することで、ロシアでは両方修業する選手も多い。

「柔道の練習のロシアの柔道は弱くよっと奇妙な主張を

座頭市よろしく一刀

フランス　居合抜き

突然襲いかかってきた敵に、さやから刀を抜いて応戦するけいこをする人たち＝パリ市内で

フランスでは、勝新太郎の映画「座頭市」が今でも根強い人気を保っている。盲目の剣豪が稲妻の速さで剣を抜き、次々と敵を倒す物語。クロサワやキタノとともに、DVD店のアジア映画コーナーの目立つ場所に並ぶ。

生徒は十代から五十代まで男女二十人。道場はだから「柔道や剣道も盛んだけれど、初めから居合抜きを選ぶ人も多い」とパリのジャック・カローさん（四七）。スペイン語講師だが、金曜の夜と土曜の朝は、スポーツセンターで居合教室のセンパイ（師範代）になる。

生徒は十代から五十代とベトナム出身の指導者ファム・ティンさんで、「切っ先にミリ単位の正確さが求められるのが居合の魅力」。腰にあった刀を素早く上段から振り下ろすと、こちら

板張りのダンス室だ。木刀だけでなく、銀色の模造刀を振る生徒もいた。ヒュッ、ヒュッと刀が風を切った。

「実は真剣も使いますが」

「柔道や剣道も」

「真剣」